

光化学オキシダントの測定結果（平成25年度）

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染（いわゆる光化学スモッグ）の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成25年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間（午前5時から午後8時まで）の1時間値の最高値が最も高かったのは、笠原測定局の0.124ppmでした。

なお、「岐阜県大気汚染対策要綱」に基づく光化学スモッグ予報の発令は、東濃西部地域に1回ありました。

地域	測定局名	昼間測定日数 (日)	昼間測定時間 (時間)	昼間 年平均値 (ppm)	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた時 間数とその割合		昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日 数とその割合		昼間の 1時間値 の最高値 (ppm)	日最高 1時間値 の年平均 (ppm)	環境基準 の適否 適○否×	平成24年度	
					時間	%	日	%				昼間 年平均値 (ppm)	環境基準の 適否
岐阜	岐阜中央	365	5,454	0.035	530	9.7	110	30.1	0.105	0.050	×	0.035	×
	岐阜南部	365	5,453	0.034	471	8.6	101	27.7	0.107	0.049	×	0.032	×
	岐阜北部	365	5,449	0.033	401	7.4	89	24.4	0.101	0.048	×	0.032	×
	各務原	362	5,359	0.036	592	11.0	121	33.4	0.114	0.052	×	0.035	×
	平均			0.035				28.9				0.034	
西濃・ 羽島	羽島	364	5,391	0.032	304	5.6	75	20.6	0.109	0.047	×	0.031	×
	大垣中央	365	5,423	0.030	156	2.9	49	13.4	0.090	0.042	×	0.033	×
	大垣南部	365	5,398	0.034	372	6.9	87	23.8	0.107	0.048	×	0.033	×
	平均			0.032				19.3				0.032	
可茂	美濃加茂	365	5,401	0.033	387	7.2	84	23.0	0.107	0.049	×	0.033	×
東濃 西部	笠原	365	5,427	0.032	534	9.8	109	29.9	0.124	0.050	×	0.032	×
恵那・ 中津川	中津川	365	5,415	0.032	462	8.5	94	25.8	0.117	0.050	×	0.031	×
飛騨	高山	365	5,430	0.029	214	3.9	42	11.5	0.009	0.041	×	0.032	×
乗鞍		351	5,212	0.040	105	2.0	39	11.1	0.084	0.047	非適用	0.042	非適用
県平均				0.033				23.9				0.033	

備考) 1 県環境管理課調べ

2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す

3 環境基準に適合しているとは、1時間値が0.06ppm以下であることを示す

4 県平均に、乗鞍測定局は含まない